

例 言

1. この概報は、奈良市教育委員会が昭和55年1月9日から2月4日にかけて実施した奈良市市民文化センター建設予定地の事前調査にもとづく発掘調査報告である。
2. 発掘調査は、奈良市が奈良国立文化財研究所平城宮跡発掘調査部に依頼して実施した。発掘調査には、鬼頭清明、山本忠尚、中村雅治、光谷拓実、巽淳一郎、上原真人が参加した。
3. 報告書の作製は、調査員全体の討議のもとに以下のように分担執筆した。
Ⅰ－1・Ⅳ 光谷拓実、Ⅰ－2 安田龍太郎、Ⅱ 巽淳一郎、Ⅲ－1 鬼頭清明、Ⅲ－2 田辺征夫・鬼頭清明（墨書土器）、Ⅲ－3 山本忠尚、Ⅲ－4 上原真人
4. 遺構・遺物写真は、佃幹雄が担当し、航空写真の撮影はアジア航測株式会社があたった。
5. 本書は、狩野久（前平城宮跡発掘調査部部长、現飛鳥藤原宮跡発掘調査部部长）と岡田英男（平城宮跡発掘調査部部长）の指導のもとに光谷拓実が編集した。
6. 当該発掘調査地については過去3度の調査があり、それらは『平城京左京三條二坊六坪調査概報』（1976.3）、『奈良国立文化財研究所年報』（1978.3）、『平城宮跡発掘調査概報』（1978.3）として公刊している。